

銃及びサバイバルゲーム用語辞典

あ・ア

アイアンサイト【iron sight】 銃の前と後ろに取り付けられている突起による照準器具の総称。必ずしも鉄でできているとも限らないので、メタリックサイトとも呼ばれることがある。前に付いているのがフロントサイトで、後がリアサイトである。

あおんそくだん【亜音速弾】 弾速が音速以下の弾のこと。サブレッサーの効果を上げることができる。サブソニック弾。

アサルトライフル【assault rifle】 歩兵が一般的に装備するフルオート射撃が可能なオートマチックライフルのこと。通常は、脱着が簡易なボックス型マガジンを使用する。装弾数は30発前後。なお、マシンガンには分類されない。騎兵隊用に小型化されたものは、カービン銃。突撃銃。

あんぜんいち【安全位置】 ⇒ハーフコック

あんぜんそうち【安全装置】 ⇒セーフティー

え・エ

エアガン【Airgun】 圧縮空気やガスを使用して金属弾頭を撃ち出す狩猟用の銃。所持するには免許が必要。なお、玩具のエアガンはこれと区別するためにソフトエアガンと称される。⇒エアソフトガン

エアソフト【Airsoft】 ⇒サバイバルゲーム
ガン【— gun】 圧縮空気やガスを使用してプラスチック弾を撃ち出す玩具の銃。サバイバルゲームでの必需品の一つ。

エキストラクター【extractor】 オートマチック銃の部品の一つで、エジェクションポートの所に付いている鉤状のもののこと。ここにブラスのリムを引っ掛けて排莢する。なお、エキストラクトとは英語で「引き出す」とい

う意味。

エジェクションポート【ejection port】 莢莢を排出する部分のこと。

お・オ

オート・ポンプアクションきりかえしきショットガン【—切替式—】 ⇒コンバットショットガン

オートマチックじゅう【automatic —】 撃発時の反動やガス圧を利用して、スライドの後退、排莢、次弾のチェンバーへの装填を瞬時にして行う銃。ハンドガンの場合、主にマガジンをグリップの中に収めるため装弾数がリボルバーなどより多い。また、素早い連射が可能でもある。ただし、あまり強力な弾を撃っても発射ガスがブローバックに回されたり、スライドオープン時になった時のガス漏れで威力がわずかに落ちることがある。(近年のはその辺が改良され、撃発後すぐにスライドが下がらないようになっている。)

オートマチックショットガン【automatic shotgun】 オートマチック射撃のできるショットガンの総称。ポンプアクションよりも素早い連射ができる。

オートマチックライフル【automatic rifle】 オートマチック方式のライフルの総称。セミオートマチックライフルと、アサルトライフル(フルオートマチックライフル)がある。

オープンサイト【open sight】 V字の溝による照準器具。リアサイトの一種。ピープサイトよりも暗さに強い。ハンドガンに多く使用されている。

オプティカルサイト【optical sight】 テレスコープサイト、ドットサイト等の光学照準器具の総称。

か・カ

カートリッジ【cartridge】⇒プラス

カービン銃【carbine】アサルトライフルの銃身を騎兵隊用に短くした銃のこと。機能等はアサルトライフルと同じ。⇒アサルトライフル

かいてんしきだんそう【回転式弾倉】⇒シリンドー

き・キ

きんせつかくとう【近接格闘】⇒シーキューシー

きんせつせんとう【近接戦闘】⇒シーキュービー

ぎんだまでっぽう【銀玉鉄砲】装填した弾をバネの力で前進するストライカーによって叩き出すという構造の遊戯銃。エアソフトガンの原型とも言える物。現在は、安価でかつ精度の良いエアソフトガンの出現により姿を消した。

く・ク

グラティクル【graticule】スコープを覗くと見える照準をするための線。十字やT字のものなどがある。

グリップ【grip】手で握るための棒。銃の前にあるものはフォアグリップと称される。—



ハンドガン各部の名称

セーフティー【—safety】グリップを強く握ることによって解除

されるタイプのセーフティーのこと。

グルーピング【grouping】【銃】集弾率のこと。

クレー【clay】陶器で作られた円形的。専用の発射台から発射するか、手で投げてそれが地面に落ちる前に射撃するためのもの。主にショットガンで射撃し、狩猟の練習をする。これを使用した競技もある。

グレネードランチャー【grenade launcher】これは、名前の通りグレネードを火薬などで撃ち出し、遠くへ飛ばす物。銃に取り付け、一人で使えるものから三脚を使用するものまで様々な種類がある。現在では、炸裂弾の他にも催涙弾やゴム製の弾頭を撃ち出すことのできる物もある。

クローズクォーターコンバット【Close Quarter Combat】⇒シーキューシー

クローズクォーターバトル【Close Quarter Battle】⇒シーキュービー

け・ケ

けいたいぶき【携帯武器】⇒サイドアームス

ケース【case】⇒プラス

げきしん【撃針】⇒ファイリングピン

げきてつ【撃鉄】⇒ハンマー

けんじゅう【拳銃】⇒ハンドガン

こ・コ

こうがくしょうじゅんきぐ【光学照準器具】

⇒オプティカルサイト

こうけい【口径】弾丸、若しくはバレルの直径のこと。またその単位。ミリかインチかは、弾丸を開発した会社による。

こうせん【腔線】⇒ライフリング

こじんとくしゅしょうかき【個人特殊小火器】⇒パーソナルディフェンスウェポン

コッキングハンドル【cocking handle】⇒コッキングレバー

コッキングレバー【cocking lever】小銃に取り付けられるストライカーのコッキングや弾のチェンバーへの装填を行うためのレバーのこと。

コム【comb】ストックの上部のこと。

コンバットショットガン【combat shotgun】セミオート射撃とポンプアクション射撃を切り替えて使用することのできるショットガンのこと。軍や公用機関で多く使用されている。

コンペンセイター【compensator】銃のマズル先端に取り付ける上部に穴を開けた円柱形の器具のこと。これを取り付けることによって発射ガスを上に逃がし、その力によって銃の跳ね上がりを抑える。同様の器具としてマズルブレーキがある。

さ・サ

サイト【sight】照準を行う器具のこと。またそのために用いるもの。大きく分けてオプティカルサイトとアイアンサイトがある。

サイドアームス【sidearms】着装武器。携帯武器。副として使う武器。⇔メインウェポン

サイレンサー【silencer】⇒サプレッサー

サバイバルゲーム【Survival Game】プラスチック弾を発射する銃などを使用して行う戦争ごっこ。発展したようなもの。スポーツに分類される。世界的なスポーツとなっており、世界中に数多くのチームが存在する。起源は、1983年の春、日本のとある月刊誌にペイントボールが紹介されたのが始まりで、当時合法的に所持できなかったペイントボールの代わりに、駄菓子屋などで誰でも手軽に入手できた銀玉鉄砲などを使用してゲームを行い始めたのが現代に至っている。なお、全国共通の

ルールなどは存在しないため、各チームなどでそれぞれルールは制定している。また、海外（特に英語圏）ではエアソフト（Airsoft）と称されるため、サバイバルゲームでは通じない場合が多い。

サブウェポン【sub weapon】⇒サイドアームス

サブソニック弾【subsonic —】⇒亜音速弾

サブマシンガン【sub machinegun】ピストル弾を発射するマシンガンのこと。通常小型で、一人で使用できる。装弾数は30発前後で、取回しがきくので近接戦闘等で多く使用される。給弾方式は、マガジン方式。ボディーアーマーに対して無力なのが欠点。マシンガンの分類に入る。

サプレッサー【suppressor】銃に取り付ける発射時の音を抑える物。サイレンサーと称されることもあるが、正確には完全に音を抑えることはできないのでこれは適当でない。音が漏れる一番の原因は、排莢する際にチェンバーから音が漏れることである。よって、射手自らが排莢を行うボルトアクションライフル等にはほぼ完全に音を消すことができる。ただし、弾が空気を切り裂く音もあるため亜音速弾を使用するのがより有効的である。

サムホール【thumbhole】グリップ後方に取り付けられている親指を通すための輪。

し・シ

シア【sear】起き上がったハンマー、若しくは後退したストライカーをその状態で保持するためのパーツ。トリガーを引くとシアの保持が無くなり、ハンマーが倒れる、若しくはストライカーが前進する。

シーキューシー【CQC】近接格闘（Close

Quarter Combat) の略。敵と接触、もしくは極めて近距離での戦闘を指す。

シーキュービー【CQB】 近接戦闘 (Close Quarter Battle) の略。比較的敵までの距離が短く、歩兵などによって行われる戦闘のことを指す。市街戦、屋内戦が主となる。閉所戦闘。

ジャーキング【jerkling】 銃を撃つ時に現れる反射運動のこと。⇒フリンチング

しゃくり【吃逆】【銃】銃を撃つ時、反射で手が反り返ってしまうこと。こうすると弾着が利き手側に偏る。

ジャム【jam】【銃】銃の作動不良のこと。弾詰まりを指すことが多い。

じゅうこう【銃口】 ⇒マズル —せいたいき【—制退器】 ⇒マズルブレーキ

じゅうしょう【銃床】 ⇒ストック

じゅうしん【銃身】 ⇒バレル

シューティングレンジ【shooting range】 射撃場で、射撃をするための立ち位置もしくは射撃をする場所のこと。通常は隣のレンジとが仕切り板で遮られ、射手の前には台が設置されており、基本的に個人使用用となっているが、屋外射撃場ではそうでない場合もある。

しゅりょくせんとうぶき【主力戦闘武器】 ⇒メインウェポン

しょうえんき【消炎器】 ⇒フラッシュサプレッサー

しょうえんせいたいき【消炎制退器】 ⇒フラッシュサプレッサー

ショートリコイル (オペレーション)【short recoil operation】 リコイルオペレーションの一種で、ボルトがブラスの全長よりも短い距離を後退する機構のこと。⇒リコイルオペレーション

ショットガン【shotgun】 一度に数発から数十発の球形の弾丸を発射できる銃のこと。通常

は狩猟 (特に鳥の狩猟) に使用されるが、広範囲に弾をばら撒くことができるので、公用機関や軍隊でも使用される。また、それらの機関ではターゲットを撃つ他に、ライフルやサブマシンガンより近距離でも反動を小さくかつ広範囲 (大口徑ライフルと同じくらい) に弾を発射することができるので、ドアの鍵などを壊すのにも使用される。なお、バレルにライフルリングは掘られていない。仮にあったとしても弾は環状にまとまってしまい、ショットガンの意味がほとんどなくなってしまいう上にライフルリングがすぐに駄目になってしまつて経済的でない。ショットガンには複数の弾を発射するものの他に、スラグ弾というバレルと同口径の弾を一発だけ発射するものもある。

ショットシェル【shotshell】 ショットガン用のケース。大きさの割りに火薬はあまり入らない。

ショルダー【shoulder】【銃】ボトルネック状のブラスで、ボディーからネックへかけて細くなつていく部分のこと。

シリアルナンバー【serial number】【銃】全ての実銃に付けられる個体識別ナンバーのこと。これがない銃を所持した場合、法律で罰せられる。また、これが読めない状態になっている場合も同様。

シリンダー【cylinder】【銃】回転式弾倉のこと。金属の円柱に上から穴をあけたようなもので、金属が厚くなるため、オートマチックピストルよりも強力な弾が発射できる。なお、英語でシリンダーとは筒のことである。—ラッチ

【—latch】シリンダーの回転軸を固定するための器具、若しくはそれと連動してそれを操作するための器具のこと。

シングルアクション【single action】 ファイリングピンを後退、若しくはハンマーを起こし

た状態から撃発サイクルを開始する機構。

シングルショットライフル【single-shot rifle】

一発毎に手動で排莢、次弾装填、ストライカーのコッキングを行うライフル。一発しか撃てないため、弾倉は無い。

シングルカラム【single column】1列に並ん

でいること。単列。—**マガジン**【— magazine】

弾が一列になって入っているマガジン。単列式マガジン。

す・ス

スコープ【scope】⇒**テレスコープ**

ストック【stock】銃の後に取り付けられている肩につけて銃を安定させるもの。銃床。

ストライカー【striker】プライマーを叩いて発火させるもの。通常はバネ仕掛けになっている。ファイリングピン。

ストローク【stroke】【銃】トリガーの移動距離のこと。

スプリング【spring】バネのこと。通常は、スライドと連動しているものの事を指し、この場合メインスプリング、リコイルスプリングと呼ばれることもある。—**ガイド**【— guide】バネの中に通す棒のこと。これでスプリングを支える。

スライド【slide】【銃】オートマチック銃上部に取り付けられている移動するパーツ。これを後退させることによって、排莢し、ハンマー若しくはストライカーを下げ、そのまま何の力も加えなければスプリングの力によって前進し、マガジンに弾が残っている限り次弾を装填し、発射準備を整えることができる。

—**オープン**【— open】スライドを引き切った状態のこと。—**ストップ**【— stop】スライドをスライドオープン状態で保持するためのパーツ。

スラグだん【slug】ショットガンの弾の一つで、バレルと同口径の弾のこと。威力的には大口径ライフルと同じくらいだが、重さと撃発時に使用する火薬の量からして遠距離ではさほどダメージは与えられない。公用機関や軍隊では主にドアの鍵や蝶番を壊す時に使用されるため、「マスターキー」などとも呼ばれる。

スリング【sling】主に銃を肩に掛けるために使用するベルト。なお、射撃時にこれを腕に巻きつけることによって、銃を安定させるという使用方法もある。—**スイベル**【— swivel】スリングを装着するための輪。

せ・セ

セーフティー【safety】【銃】大抵の銃に取り付けられている安全装置のこと。これをオンにしておくとトリガーを引くことができなくなる。中には、ストライカーをロックするタイプのものもある。—**ゾーン**【— zone】【サ】ヒットした人が行く場所。基本的にそこでは戦闘は行われませんが、ゲーム中はゴーグルをかけていなければならない。ゲーム時以外は休憩所となる場合が多い。通称死体置き場。

—**ポジション**【— position】⇒**ハーフコック**

セミオートマチック【semi-automatic】1発毎にトリガーを引いて弾を発射する機構。⇔**フルオートマチック** —**ショットガン**【— shotgun】セミオートマチック射撃のみが可能なショットガンのこと。—**ライフル**【— rifle】セミオートマチック射撃のみが可能なライフルのこと。手動で操作するものよりもブローバックのための遊びが必要であったりするため、精密さに欠ける。また、オートマチック銃の性能上ある一定の威力の弾までしか発射できない。ただし、第一弾が外れた時にすぐ

に次弾を撃つことができる。狙撃に使用されることが多い。

セレクターレバー【selector lever】 射撃法を選ぶために銃に取り付けられたスイッチのようなもの。通常はセーフティー、セミオート、フルオート（あれば2点、若しくは3点バースト射撃）が選べるようになっている。セレクター。

そ・ソ

ソフトエアガン【soft air gun】 ⇒エアソフトガン

ソフトポイント【soft point】 鉛をむき出しにした弾頭のこと。弾頭がつぶれやすくなり、与えるダメージを大きくすることが出来る。

た・タ

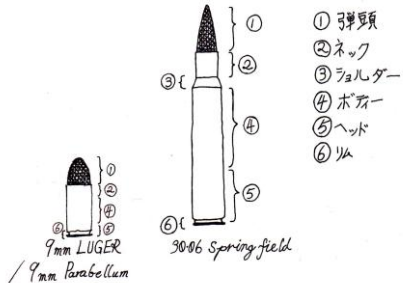
ダットサイト【dot sight】 ⇒ドットサイト
ダブルアクション【double action】 ファイリングピンを後退させていない、若しくはハンマーを起こしていない状態から撃発サイクルを開始する機構。トリガーを引くことによってハンマーが起き上がる、若しくはストライカーが後退し、そのまま引き続けると撃発となる。

ダブルカラム【double column】 2列に並んでいること。複列。—**マガジン【— magazine】** 左右交互に弾を入れる事の出来るマガジン。2列になって入るため、装填数は多いが、オートマチックハンドガンの場合グリップが太くならない。複列式弾倉。

ダムダム弾【—弾】 弾頭に溝を彫ったり、穴をあけたりして潰れやすくした対人用の銃弾。

だんそう【弾倉】 ⇒マガジン ⇒シリンダー

だんとう【弾頭】 弾の発射される部分のこと。



銃弾 各部の名称

ち・チ

チークピース【cheekpiece】 ストックの一部で、頬を密着させる所。

チェンバー【chamber】 薬室のこと。弾の撃発を行う部分。

チャージングハンドル【charging handle】 ⇒コッキングレバー

ちゃくそうぶき【着装武器】 ⇒サイドアームス

チャンバー【chamber】 ⇒チェンバー

て・テ

テイクダウン【take down】 銃を分解すること。
⇒**フィールドストリップング —レバー【— lever】** 銃を分解、もしくは組み立てる時に操作するレバーの事。これを操作する事によって、スライドが本体から外れたりする。

デコッキング【decocking】 レバー操作などにより、ストライカーを安全な位置に戻すこと。またその操作。—**レバー【— lever】** ストライカーをデコッキングさせるためのレバー。

テレスコープ（サイト）【telescope sight】 望遠鏡になっている照準器具で、遠距離のター

ゲットを拡大して見る事ができる。通常はグラフィカルで照準する。普通は単にスコープと称される。なお、レンズが光を集めるのでアイアンサイトでは照準できない暗さでも照準できる利点がある。オプティカルサイトの一種。

と・ト

トウ【toe】 バットプレート下部のこと。

とつげきじゅう【突撃銃】 ⇒アサルトライフル

ドットサイト【dot sight】 覗くと、視野の中心に赤い点が現れ、それをターゲットに重ねることによって照準するもの。基本は無倍率であるが、中にはスコープとあいこのようなものもある。オプティカルサイトの一種。

トリガー【trigger】 引き金のこと。弾丸を発射する時に操作するパーツ。—**セーフティー**

【— **safety**】 トリガーに指をかけることによって解除されるセーフティーのこと。—**ガード**【— **guard**】 トリガー周辺に設置されている通常環状のもので、何かにトリガーを引っ掛けてトリガーを引いてしまうといったことを防ぐためのもの。

な・ナ

なかおれしきショットガン【中折式—】 銃がグリップと銃身の継ぎ目あたりで折れ、そこから弾を込めて使用するショットガンのこと。通常は上下2連か横2連である。

ね・ネ

ネック【neck】【銃】ブラスの弾頭をはめる部分のこと。ここで弾頭を保持し、簡単に抜け

てしまわないようにする。ここがボディーよりも細くなっているブラスのことをボトルネックと言う。

は・ハ

バーストしゃげき【—射撃】 トリガーを引くたびに指定された弾数だけ弾を発射するシステムのこと。通常は3点である。弾の無駄を減らすことができる。

パーソナルディフェンスウェポン【Personal Defense Weapon】 サブマシンガンと同じ取り回しとリコイルショックで、ケブラー素材のボディーアーマーを無力化できるというコンセプトで後方部隊用に開発された銃のこと。都市型重犯罪の増えてきた現在では、軍隊の他に公用機関が使用することもある。アサルトライフルとサブマシンガンの中間の存在。個人特殊小火器。

ハーフコック【half cock】 ハンマーを完全に倒さずに、ファイリングピンに触れる寸前やフルコックとの間で止めておくこと。また、その機構のセーフティーのこと。

バイポッド【bipod】 銃のフォアグリップ下部に取り付けられる二脚のこと。

パウダー【powder】【銃】火薬のこと。

バットプレート【butt (plate)】 ストックの一番後ろの部分。またその板のこと。

バリスティックベスト【ballistic vest】 ⇒ボディーアーマー

バレル【barrel】 銃身のこと。これが長ければ長いほど命中精度はよくなり、飛距離も伸びるが、長すぎるのは逆効果である。通常ライフルングが彫ってある。

ハンドガン【handgun】 拳銃のこと。基本的に片手で使用できるようにデザインされているが、片手で扱うには相当の慣れが必要である。

オートマチックハンドガンと、リボルバーが一般的である。ピストル。

ハンマー【hammer】 ファイリングピン、若しくはプライマーを叩くもの。ストライカー。撃鉄。

ひ・ヒ

ピー・ディー・ダブリュー【P.D.W.】 ⇒パーソナルディフェンスウェポン

ビービー弾【BB弾】 1980年代にエアガンメーカーのマルゼンによって実用化された球形の遊戯銃用の弾丸。主にプラスチックでできている。なお、BBとは“Ball Bullet（球形弾）”の略とも、“Ball Bearing（ボールベアリング）”の略とも言われる。現在、6mm タイプと8mm タイプがある。

ピープサイト【peep sight】 輪による照準器具。リアサイト的一种。リアサイト的一种ということもあって、輪というよりピンホールといった感じである。暗さに弱い。

ヒール【heel】 コム上部のこと。

ひきがね【引き金】 ⇒トリガー

ピストル【pistol】 ハンドガンのこと。ピストルの語源は、最初に銃が作られたイタリアの都市の名前（ピストリア）。⇒**ハンドガン ー だん【一弾】** 主にハンドガン、サブマシンガンで使用される弾のこと。威力が弱く、ほとんどの場合は貫通力よりも相手に与えるショックの方を重要視するため、ボディーアーマーを貫通できないものが多い。

ヒット【hit】 【サ】被弾すること。また、被弾したということを相手に伝えるため、被弾したときに叫ぶ言葉。

ふ・フ

ファイヤーパワー【fire power】 【銃】銃の威力のこと。

ファイリングピン【firing pin】 プライマーを叩くためのピン。ストライカー。撃針。

ファイリングピンとストライカーの違い

ファイリングピンとストライカーは、どちらもプライマーを突くためのピンであり、いまいち区別が点けにくいものではあるが、区別しようと思えばしっかり区別できる。

まずファイリングピンとは、要はプライマーを突くだけのピンの広義である。これがバネ仕掛けによってプライマーを打撃するのであればこれはストライカーと称する。

ハンマーとは、バネ仕掛けによってファイリングピンを打撃する撃鉄のことで、これにファイリングピンが付いているもの（リボルバーに多い。）もある。

稀に、直動式ハンマーのことをストライカーと称することもある。

資料提供：たかひろさん

たかひろさんのホームページ：http://taka25bensakurane.jp

フィールドストリッピング【field stripping】 クリーニングのための通常分解のこと。最近の銃は、ワンタッチで分解ができるようになっている。デイクダウン。

フォアエンド【forend】 銃身下部にある銃床のこと。⇒**フォアグリップ**

フォアグリップ【fore grip】 銃の前のほうについているグリップのこと。取り外しができたり、折りたためたりするものもある。⇒**グリップ**

ふきもどしき【吹戻し式】 ⇒ブローバック
ふくれつしきだんそう【複列式弾倉】 ⇒ダブルカラムマガジン

プライマー【primer】 パウダーに火を点けるための火薬。プラスの底に付いている。なお、プライマーのものと意味は「入門書」や「手引書」。雷管。

プラス【brass】 薬莢のこと。ここに火薬を詰め、先端に弾頭をはめて使用する。主に真鍮でできているため、こう呼ばれる。ケース。カートリッジ。

フラッシュサプレッサー【flash suppressor】 バレル先端に取り付けられる先が二つや三つに割れていたり、円柱の側面に穴を空けた形状の器具のこと。これを取り付けることにより、マズルフラッシュを分散軽減し、マズルフラッシュによって射手の視界が遮られるのを防ぐことができる。なお、最近はマズルフラッシュの分散のみでなく複数の役割を持つものが主流となっている。同様の器具として、フラッシュハイダーがある。

フラッシュハイダー【flash hider】 主に古式銃のバレル先端に取り付けられる円錐状の器具のこと。これを取り付けることによってマズルフラッシュの方向を矯正し、連射時のマズルフラッシュによって射手の視界が遮られるのを防ぐのと同時に、メガホンと同じ原理で射手への発射音の防音効果もある。同様の器具として、フラッシュサプレッサーがある。

フラッシュライト【Flash-light】 言葉通り、フラッシュさせて使うライトのこと。主に銃に着けて使用し、フラッシュさせた光を相手に当てることによって相手の感覚を狂わせたり、残像効果によって相手の肉眼視力を一時的に低下させるために使用する。

フリンチング【flinching】 銃を撃つ直前に、反動を恐れたり無意識に反動に対して備えてしまうことによって、銃口が下がってしまう現象のこと。なお、フリンチとは「しりごむ」や「ひるむ」の意味。

フルオートマチック【fully automatic】 トリガーを引きつばなしにすれば連射となる機能のこと。⇒**セミオートマチック —ショットガン【— shotgun】** フルオートマチック射撃のできるショットガンのこと。普通はドラム型マガジンが使用される。**—ライフル【— rifle】** ⇒**アサルトライフル**

フルコック【full cock】 ハンマーを完全に起こした状態のこと。

ブルバップ【bullpup】 グリップやトリガーよりも後方に弾倉や機関部を配置する方式。全長の割りにバレル長を長くとることができる。

フルメタルジャケット【full metal jacket】 弾頭の鉛を完全に金属で覆ってしまった弾のこと。

フレーム【frame】 銃の本体のこと。ここにスライドやボルト、トリガーなどのパーツを取り付けていく。

ブレットプルーフベスト【bulletproof vest】 ⇒**ボディーアーマー**

ブローバック【blowback】 オートマチック銃で、スライドなどが弾丸の発射時のガス圧で後退すること。日本語では“吹戻し式”と訳される。

ブロー？ リコイル？

リコイル式とブロー式。一見すればどちらも同じ動きだが、これらが分けられているのには理由がある。

まずブロー式とは、撃発時のガス圧によって機関部を動かす機構である。

それに対してリコイル式とは、弾を発射した時の反動、いわゆる反作用を利用してボルトを後退させる機構である。

そもそも反作用は作用の反対方向にしかはたらかないので、リコイル式の場合、ボルト

は弾の発射される方向の逆にしか動かないの
に対し、ブロー式はガス圧を利用するのでバ
レルを前方に動かすブローフォアという動き
も可能なのである。極端な話、ブロー式は上
にスライドを動かすことも可能だということ
になる。

ブロー式とリコイル式の違いは、要は機関
部を動かすパワーソースの違いである。

そもそもこれらは言葉の違いにも現れてい
て、ブローとは『吹く』という意味で、リコ
イルとは『反動』という意味である。

ブローフォワード【blow-forward】 オートマチ
ック銃で、バレル、もしくはそれと連動した
スライドがガス圧で前進して排莢、ストライ
カーのコッキング、次弾のチェンバーへの装
填を行う機構のこと。

フロントサイト【front sight】 銃の前に付いて
いるアイアンサイト。ポストサイトとリング
サイトがある。

へ・ホ

へいしょせんとう【閉所戦闘】 ⇒シーキュー
ビー

ペイントだん【一弾】 中にペイント液が入っ
ている球形の弾のこと。強いショックを与え
ることで害れ、被弾物にペイント液が付く仕
組み。

ペイントボール【paintball】 ペイント弾を圧縮
ガスなどで撃ち出すことのできる銃。若しく
はそれを使用した競技のこと。もとは、放牧
されている家畜にマークを付けるための物だ
った。

へヴィーマシンガン【heavy machinegun】 ⇒
ヘビーマシンガン

ヘッド【head】【銃】ブラスの一部でリムとボ

ディーの間の部分。

ヘビーマシンガン【heavy machinegun】 大型
のマシンガンのこと。数人で持ち運びをし、
地面などに設置して使用する。操作も複数人
で行うことがある。装甲車などに設置される
こともある。マシンガンの一種。

ほ・ホ

ほうこうせいたいき【砲口制退器】 ⇒マズル
ブレーキ

ぼうだんい【防弾衣】 ⇒ボディーアーマー

ぼうだんチョッキ【防弾一】 ⇒ボディーアーマー

ぼうだんベスト【防弾一】 ⇒ボディーアーマー

ポストサイト【post sight】 棒状の突起による
照準器具。フロントサイトの一種。

ボディー【body】【銃】ブラスの真ん中あたり
の部分のこと。ヘッドの上の部分。

ボディーアーマー【Bodyarmor】 主にベスト状
の身体防護服。防弾ベストのこと。最近のは
軽量のケブラー素材である。軍隊や公用機関
用のものは大型で全身が覆えるような感じだ
が、VIP 用のものは小型で、服の下にも着ら
れるようになっている。バリスティックベス
ト。ブレットブルーフベスト

ボトルネック【bottleneck】【銃】ネック部を細



ボトルネック状のブラス

くしたブ
ラスのこ
と。口径の
割りに、大
量の火薬
を入れた
るので、強
力なライフ

ル弾などによく用いられる。

ホルスター【holster】 主にハンドガンを収めるための物。銃の鞘のような物である。

ボルト【bolt】 銃のバレル後端、チェンバーの後ろに取り付けられているもので、移動することによって排莢、次弾装填を行う器具。—**アクション【— action】** 銃のボルトを手動で操作することによって、排莢、次弾装填を行うこと。『**～ライフル【— action rifle】** ボルトを操作することによって排莢、チェンバーへの次弾装填、ストライカーのコッキングを行うライフル。オートマチックライフルより精度が良く、手動で操作するので自分に合わせたカスタムが可能。多くのスナイパーに愛用されている。

ホローポイント【hollow point】 弾頭部を凹レンズのように凹ませる、若しくは穴を空けて着弾した時に弾頭をキノコ状に潰し、与えるショックを大きくするもの。狩猟や、公用機関などで使用される。ダムダム弾。

ポンプアクションしきショットガン【—式—】 銃身下部に取り付けられたポンプアクションレバーを操作することによって、排莢、チェンバーへの次弾装填、ストライカーのコッキングを行う機構のショットガンのこと。連射速度はオートマチックに劣るが、手動で操作するのでジャムの心配が少ない。

ま・マ

マガジン【magazine】 **【銃】**銃の弾倉のこと。主にボックス型で、縦1、若しくは2列に弾を込めていくもの。なお、リボルバーのものはシリンダーという。⇒**シリンダー —キャッチ【— catch】** マガジンを装着した時、それを保持するためのパーツ。通常はリリースボタンと連動している。旧式のハンドガンだとグリップ底部に取り付けられており、それ自

体がリリースレバーとして機能しているものもある。—**リリースボタン【— release button】** マガジンを外す時に操作するパーツのこと。

マグナム【magnum】 火薬の入った樽を指す言葉で、銃弾の名称に用いられるが、その場合はあくまでメーカー側が強力な弾であるという事をアピールするために勝手に名付けているのであり、特にこれといった定義は無いようである。

マシンガン【machinegun】 フルオートで射撃をすることができる銃の総称。ヘビーマシンガン、ライトマシンガン、サブマシンガンがある。なお、アサルトライフルはライフルに分類される。

マシンピストル【machine pistol】 フルオートマチック射撃のできるハンドガンのこと。ハンドガンとサブマシンガンの中間に位置する。

マズル【muzzle】 バレルの先端部分のこと。銃口。—**サプレッサー【— suppressor】** ⇒**フラッシュサプレッサー —フラッシュ【— flash】** 銃身内部で燃焼し切れなかった発射ガスがマズルを出た所で広がってできる円形の炎のこと。—**ブレーキ【— brake】** 銃身先端に取り付ける円柱の側面に穴を空けたような器具で、銃の発射ガスをこれに当てることによって銃身を一瞬前方に引っ張り、また同時に発射ガスをいくらか逃がすことによって後方への反作用を軽減させるもの。同様の器具として、コンペンセイターがある。

マニュアルセーフティー【manual safety】 手動によるセーフティー装置。⇔トリガーセーフティー ⇔グリップセーフティー

め・メ

メインウェポン【main weapon】 主力戦闘武器。

主として使う武器のこと。⇔サイドアームス
メインスプリング【main-spring】⇒スプリング

メタリックサイト【metallic sight】⇒アイアンサイト

や・ヤ

やくしつ【薬室】⇒チェンバー

やっきょう【薬莢】⇒ブラス

ゆ・ユ

ゆうぎじゅう【遊戯銃】⇒エアソフトガン

ゆうてい【遊底】⇒ボルト

ら・ラ

らいかん【雷管】⇒プライマー

ライトマシンガン【light machinegun】1～数人で持ち運びのできるマシンガンのこと。軽量なので、一人で扱うのも容易である。

ライフリング【rifling】発射した弾が横向きにならずに飛んでしまわないように、弾に回転をかけるために銃身内に彫られた螺旋状の浅い溝。腔線。

ライフル【rifle】ライフルとは、一般的に銃身長が16in以上のもので、これにストックを装備した銃のことなのだそうだが、特にこれといった固定定義は無い様である。基本的に、バレルにライフリングが掘られているもののことを指す。ライフリングがあることにより、長距離で正確な射撃が可能である。なお、ライフリング自体のことを指すこともある。—**だん**【—弾】ライフルやマシンガンに使用される弾のこと。強力な弾が多い。形状は、ボトルネックが多い。強力なので、ほとんどの

弾がボディーアーマーを無力化することができる。

り・リ

リアサイト【rear sight】銃の前方に取り付けられているアイアンサイト。オープンサイトとピープサイトがある。

リヴォルヴァー【revolver】⇒リボルバー

リコイル【recoil】銃やバネなどが反動ではね返ること。—**オペレーション**【— operation】リコイルショックを利用してスライドを移動させる機構のこと。ガス圧によって一時的にバレルとスライド、ボルトを固定することによって、チェンバーからガス圧が逃げずのを防ぐことができる。ショートリコイルとロングリコイルがある。—**ショック**【— shock】弾を発射する時に発生する反動による衝撃のこと。—**スプリング**【— -spring】⇒スプリング

リボルバー【revolver】回転式弾倉を備えた銃のこと。弾倉の構造により、オートマチック銃より強力な弾を撃てるが装弾数や装填速度で劣る。オートマチック銃より歴史は古い。

リム【rim】ブラスの底にあるもの。オートマチック銃は、ここにエキストラクターを引っ掛けて排莢を行う。

リングサイト【ring sight】名前の通り、輪による照準器具。フロントサイトの一種。

れ・レ

レイル【rail】ライトやサイト等、各種オプションをつけるためのもの。現代の接近戦には必要不可欠なものとなっている。

レーザーサイト【laser sight】銃に取り付けたレーザー照準器具をターゲットに照射し、そ

の光をターゲットと一致させることによって照準するというもの。これは照準器具とは異なった概念のものともいえるので、レーザーサイトと言わずに“レーザーポインター”という表現をしている人もいる。

レーザーしょうじゅんきぐ【—照準器具】 ⇒
レーザーサイト

レーザーポインター【laser pointer】 ⇒レー
ザーサイト

レティクル【reticule】 ⇒グラティクル

レバーアクション【lever-action】 銃下部に取り付けられたレバーを操作することによって排莢、チェンバーへの次弾装填、ストライカーのコッキングを行う機構のこと。—**ショットガン【—shotgun】** レバーアクション方式のショットガンのこと。ポンプアクションよりも素早い連射が可能。—**ライフル【—rifle】** レバーアクション方式のライフルのこと。ボルトアクションよりも素早い連射が可能でかつオートマチックよりもいづれも精度が良い。
レンジ【range】 ⇒シューティングレンジ

ろ・ロ

ロングリコイル(オペレーション)【long recoil operation】 リコイルオペレーションの一種で、ブラスの全長よりも長い距離をボルトが後退する機構のこと。⇒リコイルオペレーション